



今こそ 知っておこう防災のコト

DISASTER PREVENTION INFORMATION

震災から早3年半。復興が進んできた今だからこそ、改めて防災について知り、イザというときに備えておきましょう。

総合防災訓練を 行いました

9月21日、震災後2回目となる総合防災訓練が行われました。今年、白沢運動場をメイン会場に、いわき市沖

を震源としたマグニチュード6.8の地震が発生し、市では震度6(弱)が観測されたことを想定に訓練が行われました。

市内の皆さんや協定を結んでいる

企業のほか、友好都市の上尾市やへそのまち協議会、福島県、消防、警察、自衛隊などが参加した大規模な訓練になりました。

今回の訓練を振り返りながら、災害時の備えや、避難の知識を深めていきましょう。



▲白バイの体験乗車が人気でした

倒木や家屋の倒壊で取り残された住民、火災で取り残された住民など、災害からの救助救出のため、警察・消防・自衛隊へ出動を要請します。建物屋上の要救助者は、消防防災航空センターのヘリコプターによって救助を行います



無事 助かりました!



訓練終了!!

12:00

11:40



災害応援協定を結んでいる上尾市やへそのまち協議会へ応援を要請。また、市内の支援物資提携企業にも支援の要請をします

災害による出火では、住民の皆さんの消火器による初期消火が大切です



10:00



災害による断水の地区には、給水車と浄水機による水の手配をします

9:00



災害で負傷した避難者の応急手当を行い、程度によっては病院へと搬送します



避難所開設のお知らせが防災行政無線・FMで放送され、避難が始まります。行政区長は、人数・世帯・けが人の有無を避難所の受付に報告します

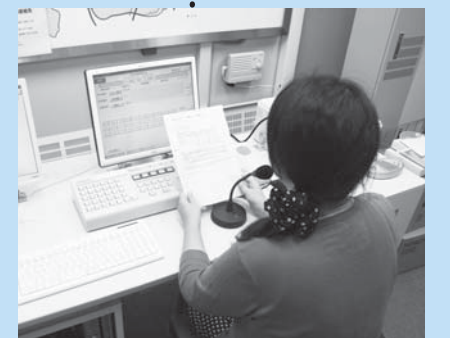


災害発生!市長の命令により災害対策本部が設置されます

訓練開始!!

8:00

社会福祉協議会が中心となり避難所に災害ボランティアセンターを設置します



災害の発生・被害状況などを防災行政無線で放送します。また、FM Mot. Comに割り込み放送し、市民に広報します

避難のために 準備をしよう!

ハザードマップを活用 市で発行しているハザードマップや防災マップで、災害時の危険箇所や避難所、避難ルートを確認しましょう。

ハザードマップは、市役所防災対策課の窓口で配付しているほか、ホームページからもダウンロードできます。

(<http://www.city-notomiya.lg.jp/soshiki/38/78.html>)



▲HPからダウンロードできる防災マップ

連絡方法を決めておこう

災害用伝言ダイヤルや災害用伝言版など、災害時の連絡手段が充実してきました。

イザというときの連絡方法を、あらかじめ家族などと決めておきましょう。詳しい使い方は、ご利用している電話会社にお問い合わせください。

災害用伝言ダイヤル 171

災害時に音声発信がつながりにくいとき、伝言を録音し、家族などが伝言を再生できるサービスです。

災害用伝言版

災害時に音声発信がつながらないとき、携帯電話やパソコンなどから、無事かどうかの安全情報を伝達できるサービスです。

災害用音声お届けサービス

携帯電話などから、音声通信に代わって、メッセージを届けるサービスです。